

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	新門司球技場等3スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	門司区新門司北二丁目6番2号等	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制	有・無	ペナルティ制	有・無
指定管理者	名 称	特定非営利活動法人 北九州フットボールクラブ		
	所在地	門司区新門司北二丁目6番2号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・ 受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・ 清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・ 事業計画書及び収支計画書の提出 ・ 関係機関との連絡調整 ・ 地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・ イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・ 市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				
(1) 施設の設置目的の達成				
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。				
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。				
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
【所見】				
【利用人員】				
区分	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比較
新門司庭球場	7,468人	6,762人	8,198人	1,436人
新門司運動場	7,854人	5,354人	10,181人	4,827人
新門司球技場	42,976人	39,844人	58,007人	18,163人
計	58,298人	51,960人	76,386人	24,426人
目標	92,000人	93,000人	94,000人	
要求水準	79,400人	79,400人	79,400人	
※ <input type="checkbox"/> ・・・評価対象年度				
【新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休刊日数】				
<庭球場>				
R2年度：39日（新型コロナ緊急事態宣言）				
R3年度：93日（　　　　　〃　　　　　）				
<運動場>				
R2年度：39日（新型コロナ緊急事態宣言）				
R3年度：93日（　　　　　〃　　　　　）				
<球戯場>				
R2年度：39日（新型コロナ緊急事態宣言）				
R3年度：93日（　　　　　〃　　　　　）				
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は76千人で、対前年比147%、+24千人増加となった。 ・新型コロナウイルス感染症も徐々に終息へ向かい、利用人員は再び増加傾向にある。 ・ホームページを活用し、施設に関する各種情報を発信することで、利用しやすい環境づくりを図っている。 				
(2) 利用者の満足度				
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。				
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。				

- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

【施設利用について】

満足度	R2年度	R3年度	R4年度
目標値	98.0%以上	98.0%以上	98.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	92.3% (59.1%・33.2%)	93.4% (52.5%・40.9%)	82.4% (55.8%・26.6%)

【職員対応について】

満足度	R2年度	R3年度	R4年度
目標値	98.0%以上	98.0%以上	98.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	98.2% (63.6%・34.6%)	98.5% (66.8%・31.7%)	98.4% (77.1%・21.3%)

※ ・・・評価対象年度

- ・施設利用について、「とても良かった・良かった」の評価が82.4%で、職員対応について、「とても良かった・良かった」が98.4%と職員対応については高い満足度を得られたが、施設利用については昨年度より11ポイント下げる結果となっている。
- ・主な要因として、庭球場のオムニコートの経年劣化が考えられ、一部コートの張替を行ったことから、今後については、状況改善による満足度向上が見込まれる。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ⑥ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所見】

【維持管理経費】

(単位:円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比較
委託料	15,053,308	15,832,908	21,565,803	5,732,895
修繕費	2,750,000	2,750,000	3,179,033	429,033
光熱水費	3,586,153	3,512,330	3,190,656	▲321,674
人件費	8,252,102	8,911,532	8,886,183	▲25,349
その他経費	3,201,358	2,357,305	2,716,497	▲359,192
合計	32,842,921	33,364,075	39,538,172	5,455,713
予算	34,923,000	34,923,000	40,907,000	

※ . . . 評価対象年度

- ・維持管理経費は前年度比で5,456千円の増加となった
- ・自社で行う業務と外部委託する業務を選別し、経費低減に努めている。日常的な清掃や草刈り、施設や備品の小修繕を可能な限り施設職員が行うことで、安価で迅速な対応に取り組んでいる。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設使用料収入】

(単位：円)

区分	R2 年度	R3 年度	R4 年度	前年度比較
新門司庭球場	2,000,810	1,608,340	1,637,660	29,320
新門司運動場	282,580	221,350	434,950	213,600
新門司球技場	2,455,700	2,094,150	2,839,150	745,000
収入計	4,739,090	3,923,840	4,911,760	987,920

※ . . . 評価対象年度

- ・使用料収入は前年度比で988千円の増加となった。
- ・主な要因としては、令和4年度はコロナ禍の中、感染拡大予防対策を徹底し、テニス大会・教室等の自主事業を昨年度よりも多く開催できたことと考えられる。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

- ・毎月のスタッフミーティングなどでの情報共有により職員の資質の向上、能力の開発に努めた。
- ・各業務に適切な人員を配置し、日々の業務の質向上に努めた。また、施設の保守管理業務と窓口業務を並行して行えるよう、2人体制の勤務シフトにより対応した。
- ・ソフトテニス連盟やグラウンド・ゴルフ協会、ジュニアサッカーなど、地域のスポーツ関係団体や地元の中学校（松ヶ江中学校）および九州国際大学との連携を図り、回数や参加者の制限はあったものの、各種スポーツ大会や教室を協働で開催し、地域スポーツ推進に貢献した。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。

⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。

⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。

⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所見】

- ・利用者の個人情報保護について、ネット予約システムの団体登録時に得る情報等が部外者の目に触れないよう鍵付きのキャビネットに保管して対応している。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止に細心の注意を払った。また、夏季の熱中症対策として製氷機内の氷の無償提供、大型扇風機を設置する等で対応した。
- ・事故や災害時における対応については、連絡網を作成、それに基づいて最も迅速かつ適切な対応が取れるように準備した。

【総合評価】

【所見】

- ・ソフトテニス連盟やグラウンド・ゴルフ協会、ジュニアサッカーなど、地域のスポーツ関係団体や地元の中学校（松ヶ江中学校）および九州国際大学との連携を図り、回数や参加者の制限はあったものの、各種スポーツ大会や教室を協働で開催し、地域スポーツ推進に貢献した。
- ・ギラヴァンツ北九州の練習会場として天然芝球技場の使用日数が増加したこともあり、芝の維持管理上、技術的に厳しい条件であったが、的確に整備手法を選定し、粘り強く作業に取り組んだことで、プロチームの求める芝状態を維持することができた

【今後の対応】

- ・今後も施設利用者や各団体等とコミュニケーションを大切にし、利用者増、施設の利便性・満足度の向上に努めていただきたい。

